

関係団体ヒアリング調査結果

【調査概要】

1 調査目的

第3次豊川市地域福祉計画（地域福祉活動計画含む）の策定にあたり、各団体が持つ地域での福祉課題を抽出するとともに、その解決に繋がる具体的活動や社協等に求められる支援方法策等を検討する基礎調査として、各種福祉団体へのヒアリング調査を実施しました。

2 対象者団体

- (1) 豊川市社会福祉施設協会
- (2) 豊川市ボランティア連絡協議会
- (3) 豊川市介護保険関係事業者連絡協議会居宅介護・介護予防支援部会
- (4) 豊川市障害者（児）団体連絡協議会
- (5) 子育てネットワーカーあいち東三河豊川支部
- (6) 豊川市障害者地域自立支援協議会相談支援事業所会議 （後日実施）

3 ヒアリング実施方法

事前に団体アンケート調査を実施し、アンケート内容に基づき意見を徴収しました。地域福祉計画・地域福祉活動計画の趣旨及び「地域福祉に関するアンケート調査」を踏まえ、「現状の地域課題及び活動上の問題点」「今後の活動」「活動にあたり社協や市に支援を期待すること」等の聞き取りを行いました。

(1) 豊川市社会福祉施設協会

平成 29 年 6 月 23 日（金）聞き取り実施

■ヒアリング調査結果（主なもの）

	内 容
地域住民に望むこと	○地域住民の方との関わりがなかなかできていないので、イベント等もう少し協力してやっていきたい。 ○学生ボランティア等に児童の学習や遊びの補助をお願いしたい。 ○介護などで困っている人がいたら連絡してほしい。 ○障害者や高齢者、施設への理解を深めてほしい。 ○施設の行事等に参加してほしい。 ○施設のイベント等に参加していただき、利用者の事を知ってもらうきっかけにしてほしい。
団体として地域貢献できること	○非常時の福祉避難所として活用してほしい。 ○施設職員による認知症講座や介護教室。 ○若い人を含むボランティアや体験学習の受け入れ。 ○地域住民のふれあい、交流の場づくり。 ○障害者に関する相談。
社会福祉協議会や市に望むこと	○「地域ふれあい事業」を今後とも継続してほしい。 ○法人が協力する社会貢献事業の開発。 ○災害時の安否確認について、市内事業所と連携してほしい。 ○地域貢献について、リーダーシップをとってまとめてほしい。 ○社会福祉事業のイメージアップや市民の理解を深める取り組み。 ○福祉避難所の具体的な活動や防災体制の強化。 ○公益的な活動の積極的な誘導。

(2) 豊川市ボランティア連絡協議会

平成 29 年 7 月 13 日（木）聞き取り実施

■ヒアリング調査結果（主なもの）

	内 容
地域住民に望むこと	○耳の不自由な方に対し、正しい理解を持ってほしい。 ○「ベルマーク運動」に理解を持ってほしい。 ○ボランティアが高齢化しているので、若い世代に参加してほしい。 ○福祉ボランティアへの理解が浅く、サロンのボランティア活動への参加が少ない。 ○これまで以上にもっとボランティア活動への参加を期待しています。
団体として地域貢献できること	○傾聴ボランティア活動の場を広げる。 ○学校行事への協力・参加。 ○学校で、夏休みなどに手話学習で交流の場の提供。 ○学校授業や地域イベントで物作りの協力。 ○脳トレ活動や体力づくりをとりいれたボランティア活動や独居の見守りを行っている。 ○敬老会への参加協力。 ○年間を通じて、町内会の各種行事への協力・参加。
社会福祉協議会や市に望むこと	○ボランティア活動者の高齢化。 ○若い世代にボランティア活動に興味を持ってもらえるよう、アピールしてほしい。 ○ボランティア講座の受講者が減少しているので、PR方法の再考。 ○職員に手話を覚えてほしい。 ○職場に手話学習の場をつくってほしい。 ○職員の人事異動が早く、なかなか信頼関係を築けない。

(3) 豊川市介護保険関係事業者連絡会 居宅介護・介護予防支援部会

平成 29 年 8 月 21 日（月）聞き取り実施

■ヒアリング調査結果（主なもの）

	内 容
地域住民に望むこと	○隣近所で仲良く助け合える関係を築いてほしい。 ○独居の方や認知症の方の見守り。 ○困っている人がいれば、気軽に相談してほしい。 ○地域で社会資源を活用して、地域でできるだけ生活できるよう協力してほしい。 ○見守りネットワークへの個人登録の協力。 ○民生委員の訪問活動等の充実。
団体として地域貢献できること	○地域住民がいつでも気軽に来られる相談窓口。 ○地域の困りごとを市や高齢者相談センター等につなげる。 ○社会資源の発掘や情報提供。
社会福祉協議会や市に望むこと	○災害時の対策、支援や協力体制、また子供や徘徊高齢者の見守りを地域で組織化してほしい。 ○社会資源の協働やサポート、発掘など情報提供をお願いしたい。 ○社協事業の周知やボランティア活動を紹介してほしい。 ○困難事例に対する積極的な関わりや支援。 ○傾聴ボランティアや独居高齢者の安否確認の充実。 ○コミュニティバスの利用改善。 ○地域資源の増加を促してほしい。 ○買い物や通院へ困っている人への外出支援。 ○40～50歳代への福祉制度等を学習する機会。 ○地域ボランティアの積極的な活用の促し。 ○経済的に介護保険サービスを遠慮する世帯に対し、福祉サービスの支援。

(4) 豊川市障害者(児)団体連絡協議会

平成 29 年 9 月 14 日 (木) 聞き取り実施

■ヒアリング調査結果 (主なもの)

	内 容
地域住民に 望むこと	○災害時の避難所生活の際に、理解・協力をしてほしい。 ○災害時にはやさしく受け入れてほしい。 ○呼吸器疾患について理解し、災害時には協力してほしい。 ○行動やししゃべり方、身体的特徴がある人もいることを普通に受け入れてほしい。 ○日頃から地域にいる障害者をそっと見守ってほしい。 ○障害のことを自分から伝えて、地域に積極的につながる。 ○見た目にわかりにくい内部障害者を理解してほしい。 ○子どものころから、地域住民とふれあう機会があるとよい。 ○精神障害者が地域で普通に生活できるよう支援してほしい。
団体として地域 貢献できること	○地域の集まりに積極的に参加する。 ○精神障害者の理解に向けた講座の講師が可能。 ○知的障害者の理解に向けた講座。 ○呼吸器障害者等の理解に向けた講座。 ○災害時に備えた誤解の解消、施設の整備。(電源・酸素の確保) ○障害者は「してもらう」という見方が強いが、自分から何かをするという気持ちが大切。公園等の草取りなど美化活動への参加
社会福祉協議会 や市に望むこと	○福祉について詳しい職員の配置。 ○障害があっても地域の中で生きていけるように、民生委員さんとの仲介・橋渡しをお願いしたい。 ○ヘルパーの高齢化。ヘルパー養成講座の開催。 ○障害者団体がウィズ豊川で避難訓練をしたい。 ○災害時に安心して避難ができる場所の確保、充実。 ○避難所体験を検討してほしい。 ○トイレの音声案内の設置や団体のPRをしてほしい。 ○歳末カレンダーのPRをしてほしい。 ○重度障害者が安心した生活を送るための、24時間体制の看護師やヘルパーを利用できる在宅支援の充実。 ○障害者等を支援する側の職員の知識や技術の向上を目指した研修会や講習会を行政で取り組んでほしい

(5) 子育てネットワーカーあいち東三河豊川支部

平成 29 年 9 月 15 日（金）聞き取り実施

■ヒアリング調査結果（主なもの）

	内 容
地域住民に望むこと	○児童館と関わり、協力してもらいたい。 ○20年間活動を続けられているのは、地域自治会のおかげ。 ○もう少し交流の機会があるとよい。 ○子育てネットワーカーの存在を知ってほしい。 ○子育てに多世代で関わってほしい。（当事者だけではなく） ○ボランティアの高齢化が進み、若い人たちに頑張ってほしい。 ○福祉施設に子連れの親子等が気軽に立ち寄れるとよい。 （小さいころからお年寄りや障害者とふれあうと、偏見や差別が減ると思う）
団体として地域貢献できること	○親子遊びの指導、子育て広場の手伝いや開催。 ○親子体操や絵本の読みきかせ。 ○子育てサロンの企画・運営、託児。 ○子育て中の親子の出会いの場をつくる。 ○個々では体験できない集団遊びの体験。 ○親子ふれあい広場を長く続けていきたい。 ○子育てサロン未設置地区の立ち上げのお手伝い。 ○子育てに関する悩み相談。 ○講演、学習会の開催を通じた、保育園・学校との交流協力、情報交換。
社会福祉協議会や市に望むこと	○児童館の室内の充実。 ○ボランティア登録グループが、地区市民館や生涯学習会館で印刷できるとよい。 ○自然なつながりができると子育てだけでなく、住みやすいまちになると思う。 ○子育てネットワーカーを活用してほしい。 ○福祉施設等に親子で気軽に立ち寄り、お年寄りの方や障害を持った方と接する機会がたくさんあれば、差別や偏見も減ってくると思う。 ○ボランティアセンター職員の充実。 ○市内施設を、利用しやすくしてほしい。 ○地域のふれあいの場を充実させてほしい。 ○市の建物、スペースの有効活用。